

様式第2号

| | | | |
|---|---------------------|----|------|
| 視察研修先 | 公益財団法人日本生産性本部 | 氏名 | 児玉 崇 |
| 視察研修項目 | 住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル | | |
| <p>～感想・所見など～</p> <p>住民福祉の向上と地方議会の政策サイクルについて、以下の講演並びに実践報告を聴講。</p> <p>(1) ミライを展望した地方議会の政策サイクル 《 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部教授 》</p> <p>自治体にとって政策実行はすべて住民福祉の向上に向けられる。住民福祉の向上のために政策サイクル（政策立案 → 政策の実装 → 課題検証・評価 → 修正）を実践する中で、議会・議員は執行機関の行政執行に正当性を与える議決機関として政策執行の一翼を担っていることの重要性を再認識しなければならない。</p> <p>そして重要なことは、「住民自治の根幹」として議会はあるべきであり、多様な主体による真摯な議論とその結果としての合意形成が重要であり、市民意見からの課題の気づきや課題解決のための議員同士の議論、合意形成に向けた落としどころの発見の努力など、これまでの議会観を打破した見方や捉え方の転換が益々必要であることを認識させられた。</p> <p>(2) コミュニティ自治とミライの議会 《 大杉 覚 東京都立大学法学部教授 》</p> <p>① コミュニティ自治を取り巻く難題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響でコミュニティ活動が消極化傾向にある。 ・世代交代も踏まえた担い手不足の深刻化。 <p>② コミュニティ・リーダーとしての未来の議員と議会の役割とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員一人ひとりがコミュニティ・リーダーとしての自覚の再認識。 ・躍動する地域づくりの先導役。 ・地域におけるトランスフォーメーション力を高める役割としての伴走役媒介役。 ・次代の人材育成・確保に注力。 <p>③ コミュニティ最前線での議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自治体」議会だからこそコミュニティの最前線に議会があることを認識すべき。 ・日常活動が「コミュニティを耕す」ことに視点をあてるべき。 | | | |

様式第2号

| | | | |
|--|----------------|----|------|
| 視察研修先 | 農林水産省 | 氏名 | 児玉 崇 |
| 視察研修項目 | 地方の持続可能な農業について | | |
| <p>～感想・所見など～</p> <p>国会開会中の大変お忙しい中、鈴木憲和農林副大臣に時間を取っていただき、寒河江市の現状や課題などについて意見交換を行ったほか、地方の持続可能な農業について全国的な事例の紹介や国の政策等について、長時間にわたり研修を行っていただいた。</p> <p>先般、総務産業常任委員会と農業担い手の会との意見交換会で多く寄せられた農地の斡旋や借り受けに係る問題が話題となり、島根県で行なっている農地の貸し借り制度についてお話をいただいた。</p> <p>島根県では、農地の集積を進め、農業の効率化を図る「農地中間管理事業」に力を入れている。</p> <p>農地中間管理事業とは、農地の貸し借りを仲介する機関「農地中間管理機構」が、農地を貸したい人から借り入れて借りたい人にまとめて貸し出す制度。農業振興公社が農地中間管理機構の役割を担っているとのこと。</p> <p>新たに農業を始めてみようという個人や企業、地域内で農業経営の規模を拡大したい人も、この事業により大規模な農地を効率的に借りることができる。</p> <p>地図システムを使って地図上に農地の利用者を色分けして、より効率的に農地を集めたり入れ替えを行い着実に実績を上げている。</p> <p>公的機関が仲介することで、安心して農地を貸し借りできることも農地を求める新規就農者や若手就農者には大きなメリット。</p> <p>今後も悩み事や困り事があればいつでも情報提供をしていただけるとのことと、併せて西村山郡の中核を担う寒河江市には、率先かつ積極的な問題への取り組みと改善・改革を進めてほしいとの激励もいただいた。</p> | | | |